

2010年日本平和大会実行委員会ニュース no. 9

2010年日本平和大会実行委員会 東京都港区芝 1-4-9 日本平和委員会気付
TEL 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277 E-mail: info@j-peace.org 11月22日

大会までいよいよあと10日

谷口稜嘩さん（長崎原爆被災協会会長）

岩村秀雄さん（佐世保空襲犠牲者遺族会会長）も参加

大会の全体集会 に岩村秀雄さん（佐世保空襲犠牲者遺族会会長）、全体集会 に谷口稜嘩さん（長崎原爆被災協会会長）が参加し、訴えをされることになりました。

岩村さんは、8月14日の全国空襲被害者連絡協議会の発足にも参加。発足にあたって「佐世保は今も米軍、自衛隊基地のある軍都。誘いを受けて闇夜に光の差した思い。今日がスタート」と決意を述べられています。

谷口さんは、5月のNPT再検討会議で、日本被団協を代表して自身の被爆体験を語り、「人間が人間として生きていくためには、地球上に一発たりとも核兵器を残してはなりません。私は核兵器が、この世からなくなるのを、見届けなければ、安心して死んでいけません。長崎を最後の被爆地とするため。私を最後の被爆者とするため」と訴えられました。

九州で引き続き参加広がる 佐賀で40人確認

大会までいよいよ10日となりました。航空機を利用して参加する都道府県は、今週は微調整の段階に。列車、自動車に参加する府県の最後のがんばりが求められています。

佐賀県実行委員会は19日、第4回実行委員会を開催。7団体から参加しました。参加確認到達は、全県目標50人に対し、唐松地域（唐津、東松浦郡）で16人、佐賀市地域で24人です。唐津では年金者組合などががんばり、これから集約の教組をふくめると20人を突破しそうです。全県的には新婦人が目標10人に対し6人、高教組が同5人に対し3人など、目標に向けて努力が進められています。そのほか、有田、武雄、鳥栖などからも取り組みを広げていきます。実行委員会には千坂中央実行委員会事務局長も参加し、「沖縄知事選挙を勝利させ、平和大会も大きく成功させよう、そのため九州の奮闘を」と訴えました。佐賀では26日にも実行委員会を開催し最後の詰めをしていきます。

*長崎県では18日に実行委員会が開催され、全国の参加者を迎える準備を確認しつつ、地元からの参加を広げていくことを話し合いました。（長崎県ニュース参照）

全運輸約20人、JMIU14人など、中央団体も奮闘

中央団体も、沖縄・宜野湾の首長選への応援で忙しいなかでも参加組織が進められています。

全運輸からは19日現在で17人申し込み。国土交通省労組共闘の枠で参加を広げようと呼びかけてもいます。本大会1日目の基地調査行動に参加できない仲間にも配慮し、3日午後には佐世保市内で学習会を行って全体集会に参加します。

JMIUは、友好労組とともに14人の参加が確認されています。友好労組では、平和大会参加が方針化されており、毎年参加しています。今年は、大田区、長野、滋賀、兵庫などから参加の予定です。

しかし、19日段階では04年に比べると各団体とも選出都道府県数が少なくなっています。選出状況を点検し、各団体の全ての都道府県組織から参加があるよう取り組みましょう。

.....

基地調査(3日、4日とも)の申し込み 24日午前中を締め切りに、あとは調整とさせていただきます。よろしくお願いたします。

★24日は、シンポ・分科会運営委員登録の集約の日でもあります。よろしくお願いたします。